



発行 肥前村役場 1958.8.20 編集 肥前村教育委員会

総選挙終る

去る五月二十二日執行の衆議院議員総選挙並に国民審査の結果は次の通り

Table showing election results for various districts including 町村別, 有権者, 投票者, 投票率, 有効投票数, 無効票.

Table showing election results for candidates (候補者名) across districts like 肥前, 河辺, 五十崎, 内子, 長浜, 郡内計, 三区合計.

商業調査 七月一日

商業調査は統計法に基づく重要な基本調査の一つであります。この調査はわが国における商業者... 昭和二十七年に第一回を実施し、その後三年目ごと

Table titled '三 国民審査投票数調(郡内)' showing results for various districts like 町村別, 有権者, 投票者, etc.

Table titled '四 裁判官別投票数(郡内)' showing results for judges like 高橋, 垂水, 河村, etc.

海外移住

啓蒙宣伝の実施方法決定 先月に本村が海外移住事業の指定村となつたことをお知らせしましたが、その啓蒙方法が次の通り決まりました。

四回目の調査であります。該当者は、別途実施について連絡いたします。



軽自動車税 税法の改正により自転車荷車税が廃止されましたが、この内原動機付自転車は従前通り課税を存置し、従来車として課税されて...

啓蒙宣伝の実施方法決定 (續) 一、座談会 県より課長及現地を視察調査して帰つた技師が来村し...

58.6.20

税賦課期日は四月一日ですが、賦課期日後に納税義務が発生した者は、その翌月から月割をもつて税を賦課することになっていす。又賦課期日後に納税義務が消滅した場合その消滅した月まで月割で徴収し、過納となつた分については還付することになっていす。軽自動車、軽自動車、二輪小型自動車、取得又は使用することになつた場合は、その発生した日から十五日以内に申告書を村長に提出しなければならぬ。(申告書役場にあり)

消滅した者は三十日以内に申告書提出同時に二輪小型自動車は納税証明書を、原動機付自転車は標識を必ず返納すること。原動機付自転車の付替法改正を機に原下一定の標識とし近く付替を行う。

### 県村民税の決定

昭和三十三年年度の県村民税が決定し、六月第一期の令書が発付されます。貴方の一カ年分の県村民税及び村民税の額、納期等詳細に書いてあります。色々と御不審な点もあるかと考えられますので、決定について簡単に説明したいと思います。

※県村民税のかゝる人かゝらぬ人  
 ※県村民税は今年一月一日現在本村内に  
 ※住所をもつてゐる者  
 ※事務所事業所 家屋敷をもつてゐる者  
 ※課税されますが、特に次のような人にはかゝらぬことになりす  
 ※昭和三十三年中に所得のなかつ

た人  
 口生活扶助をうけている人(一月一日現在)  
 八三十二年中に十三万円を超える所得のなかつた人で  
 〇六五才以上の老人者  
 〇未成年者(十八才未満)  
 〇不具者  
 〇寡婦(扶養親族を有する)  
 〇同居の妻  
 但し以上の人でも次のような時は課税されます。  
 〇老年者、不具者、又は寡婦が世帯主で、その家族に家業に専従する健全なる成年者がある場合は課税されます。但し寡婦で、戦傷病者、戦没者遺族等援護法の規定による遺族年金及び、恩給法に基く扶助料で全額が遺族年金に準ずるものを受ける者は扶養親族の有無を問わないことになつていす。  
 ※税金の算出について  
 県、村民税共に納税者へ均一に課する均等割と、三十二年中の所得を基にして計算する所得割を合した額が一年分の税金でそれを四期に分けて納めていたゞきます。但し均等割だけの方は、第一期に全額納入することになつていす。

所得割です。以上で大体の課税説明を終りますが、この説明を基にして第一期の令書をよく見られた上で、違法又は、誤がある場合は、七月二十日までに文書を以つて、異議申立をして下さい。異議が正当であれば、第二期以後で増減の調整をいたしますので、第一期分はそのまゝ納期内に納めて下さい。

### 食あたり

食あたりと言うのは、腐敗し変質した食物や、いろいろの有毒な細菌のついてる不潔な飲食物を口にした為起る激しい急性の胃腸の病気で、七、八才までの子供ですと、殆んど疫病と同じような容体になり、生命にもかゝわる事がありますから広い意味の疫病として扱つてよいと思われます。年令が多くなると、抵抗力が強くなり、多少幼児と違つた容体が現われて来ます。

食あたりの中でも一番危険なのは、魚や肉類、殊にそれらの罐詰物の変質したものや食べた場合です。急に高い熱が出たと思つと、腹痛がおこり激しいはき下しが始まります。

毒素が猛烈で、疫病の場合と同じように手おくれになると脳や、心臓を冒して、ケイレンや心臓マヒを起して死亡することも稀ではありませぬ。その他の不良飲食物や、暴飲暴食から起つた場合も、多くは熱をとめない、必ず激しい吐き下しが始まります。

食あたりと気づいた場合は直に医師の診察を受け早く胃腸の中の

悪いものを出してしまふ事です。吐くものはどしどし吐かせること。既に腸へ下つて下痢を始めたものには、食あたりと言う事がはつきりしてゐる場合は、ヒマシ油(下剤)等を与えて早く下してしまふことです。その他は疫病の時と同じように絶食を行い水分はたくさん与えて、高熱には、水枕、水浴をあて、手足が冷たくなれば夏でも湯タンポを入れることです。

予防としては、腐敗し変質した不衛生な飲食物を与えないことが第一ですが、たとえ良い飲食物でも暴飲暴食をすると胃腸の中に停滞し易く、殊に夏は消化器の機能が衰えてゐるから、そのため胃腸内で異常發酵を起し、結局食あたりの症状を来します。

又、これからは宵越しのものなど子供に与えるのは非常に危険です。冷蔵庫に入れてあつた品など油断するため却つて危険な場合が有ります。

その他、過労やねびえなどのために体力が衰えると危険が多いです。から、ねびえや、日光の直射、水泳などで疲労しすぎると言うことをせぬよう平素の注意が大切です。

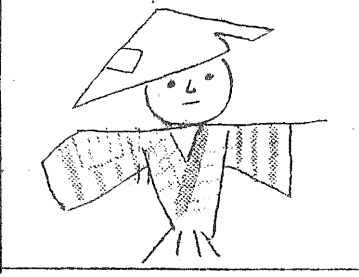
### 狩猟法が改正されました

狩猟法が改正され、7月1日から施行されます。改正された主な点は次の通りです。

1 空気銃は、今まで登録をすればよかつたのですが、これから知事の免許がいります。これを三種狩猟免許と言ひます。これで狩猟免許は、甲乙丙の三種類になります。又登録税500円が、廃止され狩猟者税900円があることになりました。

2 免許うける資格  
 今までの乙種と同じで、空気銃も満20才以上でなければもてなくなりました。

3 狩猟法に違反すると、免許を取消れ、取消れた時は、その後2年間は免許をうけられませぬ。



場 所	期 日	時 刻
正 山 小 学 校	六 月 三十 日	初 回 午後 一時 三十分
小 学 校	七 月 七 日	二 回 午後 一時 三十分
中 学 校	七 月 十四 日	三 回 午後 一時 三十分
宇 和 川 中 学 校	七 月 一 日	初 回 午後 一時 三十分
大 谷 小 学 校	七 月 一 日	二 回 午後 一時 三十分
中 学 校	七 月 一 日	三 回 午後 一時 三十分
大 谷 小 学 校	七 月 一 日	四 回 午後 一時 三十分
中 学 校	七 月 一 日	五 回 午後 一時 三十分
大 谷 小 学 校	七 月 一 日	六 回 午後 一時 三十分
中 学 校	七 月 一 日	七 回 午後 一時 三十分
大 谷 小 学 校	七 月 一 日	八 回 午後 一時 三十分
中 学 校	七 月 一 日	九 回 午後 一時 三十分
大 谷 小 学 校	七 月 一 日	十 回 午後 一時 三十分
中 学 校	七 月 一 日	十一 回 午後 一時 三十分
大 谷 小 学 校	七 月 一 日	十二 回 午後 一時 三十分
中 学 校	七 月 一 日	十三 回 午後 一時 三十分
大 谷 小 学 校	七 月 一 日	十四 回 午後 一時 三十分
中 学 校	七 月 一 日	十五 回 午後 一時 三十分
大 谷 小 学 校	七 月 一 日	十六 回 午後 一時 三十分
中 学 校	七 月 一 日	十七 回 午後 一時 三十分
大 谷 小 学 校	七 月 一 日	十八 回 午後 一時 三十分
中 学 校	七 月 一 日	十九 回 午後 一時 三十分
大 谷 小 学 校	七 月 一 日	二十 回 午後 一時 三十分

陽パラチフス予防注射実施

左の日程により予防注射を実施しますので該当者は必ず注射を受けて下さい。

該当者は 満六十才(明治三十一年一月出生の者)以下、満三十才以上の者

陽パラチフス予防実施日程(注射料金は無料)

### 肱川地域農村振興

#### 協議会 設立

#### 新しい村の建設を目指して

去る五月、新農村建設事業地域としての指定を受けた村は、選挙の終るのを待って、この事業の推進に当る機関として、村をはじめ農協、森林組合、婦人会、青年団その他、農林業関係の機関団体の代表に、教育・文化・経済等の分野よりの学識経験者を加へ、肱川地域新農村振興協議会を結成、村長を会長、藤川議長を副会長に選出、農家個々の、真実の声を基盤に、肱川地域農林業振興の基本計画を樹立、国県の応援を得て強力に推進、農林漁家の生活の向上と、地域農林業の振興をはかることになつた。

委員氏名次の通り、カツコ内は代表する団体  
池田万千雄(村長)  
藤川 守仲(議長)  
中居喜代光(農委)  
谷本 義光(農協)  
丸山 青澄( )  
山田庄太郎(森林)  
山田 久綱(酪農)  
和氣 利政(開拓農協)  
丸川福太郎(木炭生組合)  
金田 長鶴(たばこ組合)  
中野 龜松(養蚕連)  
藤高 敏治(茶業組合)  
坂本 金友(漁業組合)  
綾井 章江(婦人会)  
渡辺 弘務(青年団)  
松本金次郎(青年建設協)  
西田 梶尾(部落長代表)  
石谷 強( )

森本 鶴雄(部落長代表)  
久保 武政( )  
菅原 勤( )  
山下 福喜( )  
香川久次郎(学識経験者)  
山内 利正( )  
山内 篤臣( )  
和氣 鶴吉( )  
山中 寅市( )  
この他、公民館、共済組合の代表者が参加する。  
なお協議会と農家、部落との緊密な連絡と、本事業の推進のため、部落毎に、調査推進員をおくことを決定した。

#### 第一次調査開始

協議会の決定にしたがつて人選をすゝめていた調査推進員を六月四日決定、就任を熱望した結果、快諾を得、六月六日農繁期であるにもかかわらず、全員の出席を得て、第一次調査の打合せ「村づくり」事業の説明会を開催した。  
この第一次調査は、肱川地域内の農家の実情を知り、所得の大小、兼業、専業別その他、作物の種類等によつて分類し、どのような型の農家が、どの位あるかと言ふことを知らべ、種類のちがつた農家毎に、どのような方法をとれば経営を改善できるか、どのような欠点があるかと言ふことを調べ、村が計画をたてる一番基礎になるものである。特に今までのように「報告する」と言う意味のものでなく、農家自身が、自分の経営、部落、地区、全村域の農林業の実態を、調べ、その欠点を発見し、その改善方法を考える。そして協議会のたてる計画の中に、その自

らの発見した対策をより込むと言ふ考えがなければいけないことが強く要望された。  
各調査推進員もこの考えのもとに、七月十日終了を目標に、一人一人とひざをつき合して、調査の目的を達することになつた。  
調査推進員氏名左の通り

- |       |       |
|-------|-------|
| 中野 一  | 二葉 義継 |
| 上川 武夫 | 兵頭清四郎 |
| 北川 武頼 | 山本 滝蔵 |
| 皆本 正己 | 山崎 一  |
| 上田 治男 | 富永 龜雄 |
| 中田 賢光 | 沖野 利男 |
| 畦田 和弘 | 今宮 忠雄 |
| 西田 梶尾 | 石谷 強  |
| 上甲 忠光 | 岡中又三郎 |
| 浅井 義明 | 菅野 松雄 |
| 山内 久綱 | 沖 吉礼  |
| 森本 鶴雄 | 高倉 勝長 |
| 龜田 元市 | 松本 藤寿 |
| 稲田 満春 | 池田多万亀 |
| 富永 實幸 | 山内 郁盛 |
| 大森喜代衛 | 久保 武政 |
| 椎野 邦夫 | 池田 逸郎 |
| 森岡 鶴雄 | 和氣 年生 |
| 藤高 登  | 和氣 鶴吉 |
| 富永 龍蔵 | 東 吉徳  |
| 松田 福市 | 山下浪太郎 |
| 山中 美茂 | 清水 昇  |
| 畦崎 仲徳 |       |

### 農事メモ

#### 次月の病害虫発生 予報と防除

「今までの観察の結果、病害虫共に発生は例年より少し早いようです。  
二、今月天気の良い日が例年より多い様な場

合はれもちが多少減る代りにうんかが多く発生しますから注意して下さい。  
三、今年はおむし類の発生が例年より多い見込です。山狭の水田や、昨年発生が多かつた田は注意して早期に防除して下さい。  
四、萎縮病の発生が最近ふえて居ますので、ツマグロヨコバイの防除を行つて下さい。  
防除は前のおむしと併せ、早期にBHCを散布して下さい。畦畔へも散布すること

#### 水田における 尿素使用のかんどころ

最近尿素の使用が多くなつて来ましたが、尿素は中性肥料で土壌を酸性化することなく、むしろ、土中の不溶性の磷酸、石灰、苦土等を有効化する性質があります。使用に当つては、  
一、窒素成分が四六％で硫酸の倍以上ある。  
二、窒素成分の流亡が多い。  
三、尿素は分解するまでは土に吸収されず水に溶けている。  
四、(夏なれば一日位で分解する)の性質に注意して下さい。  
従つて使用量は硫酸の半分位とし、施し過ぎない様にします。  
又、本田の場合は、代播の一、二日前に全面散布するのが良いでしょう。

#### 注意して下さい

これから農薬を散布する事がなくなり、薬のついた畦畔の草を家畜に与え、中毒を起すことがあります。  
薬の残効期間は大体次の通りです。この間の草は食べられない様にし、万一中毒と思われれば出来るだけ早く獣医に連絡し解毒剤を飲ませて下さい。  
石灰、硫酸合剤 五日(一週間)  
EPN 二週間  
マラソン 二週間  
テップ 一週間  
BHC 特に多量でない限り害はない  
セレサン 三週間  
ホリドール 二週間  
尚セレサンは水銀が残るので、全然降雨のない場合は以後もできればさけること。  
右の期間内でも、薬の附着量又は降雨の状態では何ら差支えない場合もあります。  
\*裸地へは敷草を行つて下さい

#### 家畜の農薬中毒に 注意して下さい

本村の畑地果樹園は急傾斜のため、耕土の流失防止を特に考へなければなりません。切角培養してきた耕土を流さないためゴミでも何でもよいから、梅雨前半中に裸地へ敷草をして下さい。  
尚この敷草は、次に来る梅雨明けの乾燥期の水分不足を、土

面蒸散防止によつて抑えてくれる。又地温を調節し根のはたきを良くし、高温により細根が枯死するのを防ぐことができる。又有機物の施用は、土壌面に限らず深層に施した場合でも雨水の滲透吸収に極めて有効で、これは腐植の増加となり、肥料分の吸収保持の高い耕土を作ることが出来る。

### 人口動態

昭和三十三年五月三十一日現在  
五月中の出生・死亡者氏名

出生	栗田 好喜
郷	栗田 准子
昇電事	平尾 治
大屋敷	岩野 勝
町	内田 三
下大和	曾根 公
月野尾	富永 健
協生	福山 詞
上鹿の川	中居 優
下	大野 志
小	菅野 美
小	菅野 恵子
教員	菅野 敦
上鹿の川	米田 稔
久保	兵頭 史
小	藤本 史
中	水口 登
上	東 豊
共	上野 義
小	中居 眞
死亡	中居 眞
上森	新山 眞
大屋敷	石堀 眞
岩野	勝 眞
勝	治 眞

本月の出来事

- 五月十一日 農業共済組合総代会を開く
- 十三日 村内小中学校長会開催
- 十四日 建設省中国四国地方建設局長米村
- 十七日 民生委員会、農業共済組合総代会を開く
- 衆議院議員候補者立会演説会開催
- 衆議院議員選挙並びに最高裁判官国民審査投票執行
- 廿三日 レントゲン検診
- 廿四日 土木事務所長米村
- 廿五日 毛利松平代議士米村
- 廿七日 大谷地区ツ反注射
- 廿八日 観光協会役員会開催
- 肱川地域農村振興協議会開催
- 卅一日 婦人会分会長会、消防団分団長会、V・Y・S子供会を開く
- 六月五日 白石牧道計画線測量
- 六月六日 菟野尾、和気喜代住宅全焼
- 小蔵地すべり箇所実地調査のため県砂防課長一行米村
- 月野尾農道計画線測量
- 八日 川上地区交通安全協会総会を開く
- 九日 中津反注射 瓜生谷農道計画線測量
- 十日 智茶ノ木瓜畦農道計画線測量
- 交通量調査

林業通信

県森連木材市売場市況

肱川土場価格(六月五日市況)

材種	長さ	寸	口	スギ	ヒノキ	マツ	備考
一	〇	尺	三〇下	三三〇〇	三三〇〇	二一五〇	足場材 一尺八円
二	〇	尺	三〇上	三三〇〇	三三〇〇	二一五〇	一四円
三	〇	尺	三〇下	二八五〇	二八五〇	二〇〇	
四	〇	尺	三〇上	二八五〇	二八五〇	二〇〇	
五	〇	尺	三〇下	二八五〇	二八五〇	二〇〇	
六	〇	尺	三〇上	二八五〇	二八五〇	二〇〇	
七	〇	尺	三〇下	二八五〇	二八五〇	二〇〇	
八	〇	尺	三〇上	二八五〇	二八五〇	二〇〇	
九	〇	尺	三〇下	二八五〇	二八五〇	二〇〇	
十	〇	尺	三〇上	二八五〇	二八五〇	二〇〇	

33年度 農業経済の見通し

○需要  
イ農産物の世界貿易は前年より増減少  
輸出価格も弱含みの横ばい  
ロ国内農産物は、食糧農産物は二%増、それ以外のもは、前年程度で、輸出は少しふえる見込

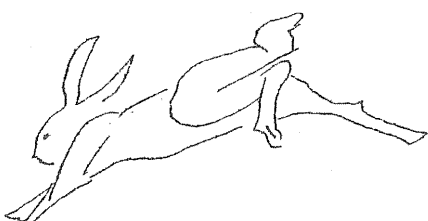
○農作物価格  
イ農産物価格  
果実、工芸作物は高くなる見込  
野菜、畜産物は前年並み  
いも類は、かなり安い見込  
ロ農業用品価格  
飼料安く、肥料農薬、農機具は少し安く、全体としてわづか安い見込

○夏作市場の見通し  
イ甘藷  
生産かなり増、一〇〜一二円、食原とも(四〇〜二八円)よりかなり安  
ロなたね  
生産増、油脂原料及油脂の供給よく(六〜八月二九八三円より)やゝ高いか、前年程度

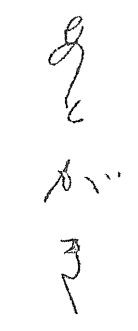
○供給  
イ生産物は一%増、これは畜産物、いも類、果実、野菜類の増加による  
ロ食糧輸入は、大麦増減、大豆、小麦、砂糖前年通り、米はふえる見込

○畜産物  
イ牛乳  
上期は前年より一五%生産増  
乳価は二月価格よりやゝ値上がり  
ロタマゴ  
前年よりかなり安い(前年上期七三〜八四円より)

ハ肉牛  
出回り前年程度、価格は、上期昨年の貴当五八四円生体より安かるう。



◇人口◇  
男 四、一二三人  
女 三、八〇〇人  
計 七、九二三人  
世帯数 一、五〇〇



一年中で一番忙しい農繁期となつた。蚕があがる。麦刈り、田植え、猫の手も借りだくなるような農家の明け暮れがはじまつている。

忙しいと、と角洗濯炊事などもおろそかになり、間に合せの食事、汗のまゝの衣服で過しがちとなる。

忙しいと身体を使うことも激しく、カロリーも多く必要だし、いろんなビタミン類の消耗も多くなる。身体も疲れているから少しでも心を許すと病気にも浸され易い。

ところが、忙しさのあまり、食事も衣服も間に合せがちとなり、粗食、粗衣で、過してしまふ。がまんがまんをしていながら農繁期が終ると、一度に医者への門も狭くなるようなことは毎年の例になつていゝ。

加うるに、相当な暑さ、どう考へても条件は悪い。

一年中で一番身体を休めている正月や盆、お節句、田休みなどには御馳走を飽食している。せめて祭などに使う御馳走の半分は、今のような農繁期の忙しい時のためまわしておきたいどうか、この農繁期が天候にも恵まれ、無事に、元気で終るよう祈つている。

これから梅雨期に入つてゆき高温高湿になると、食物の腐敗などをはじめとして、生活にもいろんな障害が生じてくる。

昨年は、多くの伝染病も発生したが、今年には村中の人々が、一人一人注意して、元気で過せるようにしたい。